

平成 29 年度

長寿社会部の取り組み実績

<部の構成>

長寿社会総務課、地域包括ケア推進課、介護保険課

1. 重点施策・事業

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

目標

適切な生活支援と介護予防を一体的に提供することで、高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと生活できる環境づくりを進めます。

取り組み

要支援認定者など軽度の高齢者の心身の機能を引き上げ、要介護への移行を防止するため、リハビリテーション専門職等を活用した市独自の生活支援サービスを開始します。また、地域にご協力をお願いし、身近な場所での介護予防拠点の整備や、介護予防ポイント事業の拡充など、高齢者の社会参加を促進し支える体制づくりに取り組みます。

平成 29 年度当初予算：811,567 千円

実績

要支援認定高齢者を対象とした市独自介護予防・生活支援サービスを開始し、適切なケアマネジメントにより徐々に普及させることで高齢者の心身機能の改善を図りました。また、介護予防ポイント事業のサポーター派遣先を拡大するとともに、地域のご協力を得て 40 の小学校区に「元気づくり・地域づくり会議」を設置し、51 箇所の高齢者居場所の登録を行うことにより、高齢者が安心して生き生きと生活できる地域づくりを推進しました。

平成 29 年度決算：572,193 千円

取り組みに対する達成状況

【 ○ 】

(2) 認知症施策の推進

目標

認知症高齢者が地域の中で尊厳を持ち、できる限り自立した生活を送ることができるよう、認知症に対する正しい知識を普及するとともに、ニーズに沿った支援と権利擁護の取り組みを進めます。

取り組み

認知症サポーターの養成を継続し、認知症への理解を深めるとともに、認知症初期集中支援チームの活用、認知症カフェへの支援等の施策を実施します。また、市民後見制度の整備等を通して、権利擁護の取り組みを拡充します。

平成 29 年度当初予算：13,855 千円

実績	認知症への理解を深めるための取り組みとして、認知症サポーター養成講座を 59 回開催、また認知症ケアパスを 1 万部配布し、周知・啓発を図ることができました。認知症初期集中支援チームを 6 事例に発動し、早期に必要な支援に繋がりました。市民後見人の養成については 4 人が受講し、登録に繋がっています（累積で 15 人登録）。
	平成 29 年度決算：3,936 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(3) 在宅医療・介護連携の推進	
目標	高齢化の進行に伴い、慢性的な疾病を抱えた高齢者の増加が見込まれます。医療と介護の円滑な相互連携を図り、高齢者が安心して在宅生活を送ることができる環境整備をめざします。
取り組み	医療・介護の関係者で構成する「地域ケア推進実務者連絡協議会」等の連携体制を活用しながら、多職種連携の研修など相互理解の取り組みを進めていきます。また、それぞれの地域の特性を勘案しつつ、医療・介護関係者、地域住民、行政機関等で構成する地域ケア会議を開催し、地域の課題に対応していきます。
	平成 29 年度当初予算：4,545 千円
実績	地域ケア推進実務者連絡協議会や地域ケア会議の開催等を通して、医療・介護を要する高齢者の在宅生活を支えるためのネットワーク構築に継続的に取り組み、顔の見える関係づくりや相互理解を促進し、課題の共有を図りました。
	平成 29 年度決算：4,535 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	シルバー人材センターについて、平成 27 年 3 月に策定された「いきいき 21 世紀プラン（中期計画）」に基づき、自立運営に向けた取り組みを促します。
実績	枚方市外郭団体等経営評価員による外郭団体等の経営状況等点検・評価を受け、市の対応方針を策定し、今後のシルバー人材センターの事業展開やセンターに期待する役割などについて協議を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
42. くずは北デイサービスセンターの民営化	当地域においてデイサービス事業が必要であることを踏まえ、引き続き、指定管理者による運営を実施しながら、民営化に向けた課題の検証を行うなど、より効率的・効果的な運営について検討を行います。
実績	指定管理者による運営を実施しながら、民営化の効果など諸課題について再検証を行うため、平成30年4月1日から平成35年3月31日までを指定の期間とする指定管理者を選定し、指定の手続きを行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	窓口アンケートを実施し、結果を踏まえて対応改善を行うとともに、窓口マニュアルを活用し、市民満足度の向上に努めます。
実績	アンケートを実施することにより、市民からの意見をもとに職員の窓口での対応、わかりやすい説明を心掛けているか等を再確認し、さらなる市民サービス向上に向けて取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
連絡会議等への効率的参加	多職種連絡会議、事業所連絡会、地域の会議等、多くの会議への参加が必要であるため、情報共有を図りながら、各課及びグループの担当を超えた協力体制をとり、市民・事業所との連携強化に努めていきます。
実績	職員間において、情報共有を図り効率的に会議に参加することができました。また、様々な会議体を対象に、合同で研修を行ったことで事業所・職種間の連携にも努めることができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 6 期）（計画期間：平成 27～29 年度）に基づき、適正な予算編成・執行に努めるとともに、次期計画（第 7 期）の策定において、適切な介護保険サービス量を見込んでいきます。

実績	介護保険給付費は、歳入・歳出ともに第 6 期計画に基づき適正な予算編成・執行に努めました。また、平成 30 年 3 月に、ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 7 期）（計画期間：平成 30～32 年度）を策定しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、社会経済情勢の変化等により一定の役割を終えた事業を見直し、380 万円の予算を削減しました。

実績	栄養改善事業を廃止し、介護予防・生活支援サービス事業における独自サービスとして栄養士派遣指導事業を開始しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆介護予防事業の指針が変更されたことに伴い、「お達者基金」を活用して実施していた介護予防教室事業を廃止し、新規事業である「高齢者居場所づくり助成事業」の財源に転換を図りました。

実績	平成 29 年 8 月から高齢者居場所の登録受付を開始し、51 か所の住民主体の高齢者居場所が設置されました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆頻繁に実施される法令改正に迅速に対応できるよう情報把握に努めるとともに、朝礼時や定期的な部内会議の場を有効活用し、多様な事象への初期対応、初動体制等について確認し合い、優れた対応力の育成に努めます。

実績	職員間で情報共有に努め、事例対応後の振り返りを行いました。また、事例の振り返りを通じ、スムーズに初動対応できるよう聞き取りシートを作成しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆効果の高い介護予防事業をめざし、地域のリハビリテーション専門職等を活用した実施体制を整備します。

実績	ひらかた元気くらわんか体操の実践グループへの支援体制を整備しました。また、リハビリテーション専門職が関与し、「歩くこと」に特化した介護予防イベントを開催しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆高齢者の権利擁護を視野に後見制度の活用を図るため、福祉系及び法律系の専門職が連携する仕組みづくりを進めます。

実績	高齢者における後見制度の活用を促進するため、関係部署と連携し仕組みづくりについて検討を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆枚方市のホームページについて、閲覧者が知りたい情報をわかりやすく整備するとともに、速やかに目的の情報にアクセスできるよう、閲覧者の利便性向上に努めます。また、画像やイラストを活用することで、わかりやすく読んでいただけるホームページをめざします。

実績	「高齢者しつとこサイト」において情報発信を行い、同ページの見やすさ、わかりやすさ、更新状況などをチェックし、速やかに修正、更新を行うよう努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆地域の医療・介護情報をはじめ、さまざまなインフォーマルサービスや集いの場など、高齢者のための地域資源を幅広く情報提供する WEB システムを立ち上げ、継続して整備していきます。

実績	「暮らしまるごとべんりネット」を立ち上げ、医療・介護情報や外出・交流の場、生活支援、スポーツクラブ等、地域の幅広い情報を提供することができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	